

2 就職活動支援サイトの構築

川村 礼, 工藤 夏実

指導教員 小野 陽子

1. はじめに

就職活動中に過去の選考情報や現在の求人等の必要な情報が一つにまとまっておらず使いにくさを感じたので、これからの中高生のために就職活動を促進させていく「就職活動支援サイト(以下: JHS) の構築」をテーマにした。

また、平成 23 年度の先輩も同じような卒業研究を作成していたのでその研究を参考にし、企業説明会等のスケジュールを共有し報告書の出し忘れ等を防ぐこと、企業ごとに多数ある過去の選考報告書から企業の研究を含め、広い目線から自分に合った企業を見つけることを目的としたより良い作品を作成することを目指す。

2. 研究概要

2.1 目的

PC とスマートフォン (Android) 両方で利用できるものを作成する。

PC では学生側からスケジュール登録、報告書作成(入力)、教員側から添削、アカウント登録などを行い、スマートフォンでは教員・学生・管理者に分けたページでスケジュール・報告書・過去の選考報告を閲覧できることを目指す。

2.2 開発環境

開発環境は以下の通りである。

表 1 Web データベース用開発環境

OS	Windows7
Web サーバ	Apache
データベース	MySQL
言語	PHP,CSS,javascript
開発ソフト	Xampp

表 2 スマートフォン用開発環境

OS	Windows7, Android(nexus7)
言語	HTML5, Java, CSS
開発ソフト	Eclipse(Aptana Studio), Android SDK Android Development Tools
ブラウザ	Google Chrome

3. システム概要

3.1 データベース

データベースは、**phpMyAdmin** を使用して作成した。学生 (1 件)・教員 (1 件)・企業のデータ (100 件) は架空のものを準備した。

データベース・テーブルは以下の通りである。

データベース名 : syukatsu_db

→照合順序 : utf8_general_ci

テーブル構成

● 学生(gakusei_t)

- ・学生スケジュール(g_schedule_t)

● 教員(kyoin_t)

- ・教員スケジュール(k_schedule_t)

- ・TODO (todo_t)

● 企業(company_t)

- ・就職内定報告書(naitei_t)

- ・選考報告書(senkou_t)

- ・過去選考報告書(senkou_h_t)

- ・就職面接会等報告書(goudou_t)

- ・企業訪問(visit_t)

- ・就職面接会等イベント (event_t)

3.2 画面遷移

インデックスからそれぞれの機能選択までの画面遷移は図 1 の通りである。

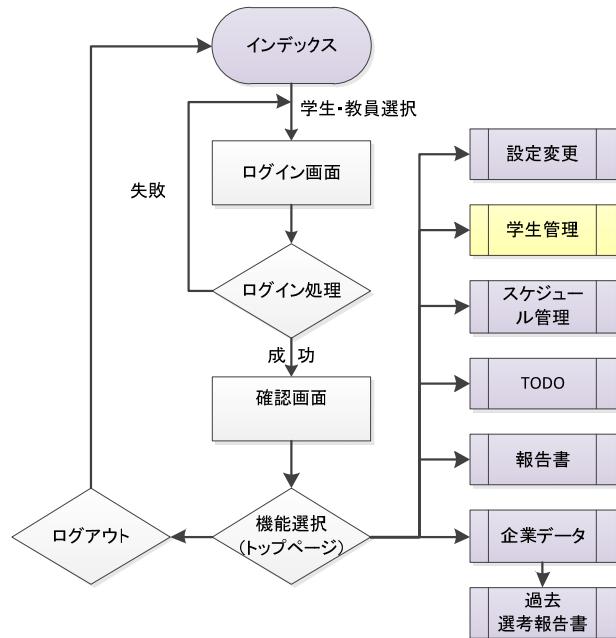


図 1 主な画面遷移

3.3 スマートフォン概要

レスポンシブ Web デザインを使用して、画面サイズと画像サイズを設定した。

- タブレット(android) : 横幅 768px
- スマートフォン(android) : 横幅 640px

スマートフォン・タブレットによって、CSS を自動的に切り替える。(例:図 3・図 4・図 6・図 7)

企業データ閲覧ページでは画面を見やすくするためにアコーディオンメニューを使用した。



図 2 アコーディオンメニュー

3.4 機能

①インデックス

学生・教員共有のはじめのページ。



図 3 インデックス (PC)



図 4 インデックス (スマートフォン)

②ログイン

学生・教員それぞれの TOP 画面を表示する。

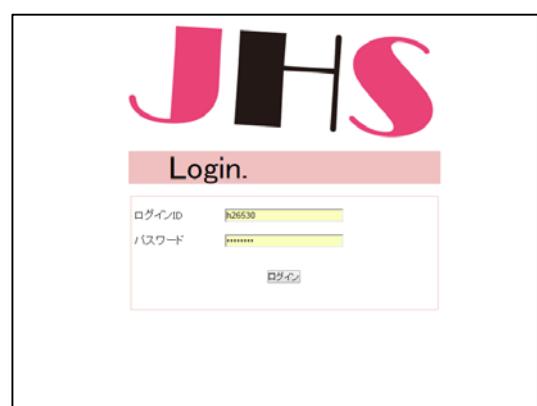


図 5 ログイン (PC)

③トップページ

最新の Todo とスケジュールを確認することができる。



図 6 学生トップ (PC)

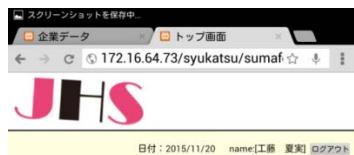


図 6 学生トップ (PC)



図 7 学生トップ (スマートフォン)

④設定変更

自分の設定（パスワード・希望調査）を変更することができる。

科名	学年	番号	氏名
情報技術科	2	30	産技短子
ユーザID			
現在のパスワード			
新規パスワード			
新規パスワード(再)			
希望調査			
<input type="radio"/> 未定 <input type="radio"/> 県内 <input type="radio"/> 県外			
<input type="button" value="設定変更"/>			

図 8 設定変更 (PC／学生)

⑤スケジュール

就職活動や用事などマイスケジュールを登録することができる。



図 9 カレンダー(PC／学生)

また、教員側でも学生のスケジュールを共有させて内容（例：○○の面接）を把握するため、スケジュール作成時は①「公開・非公開」を選択できるようにしている。②「Todo に登録する」を選択すると、自動的に Todo と連携することができる。

就職面接会参加 その他
[h26530さんの[2016-02-01]の予定 非公開 ▾]
時間 8 時 00 分
タイトル
内容
② Todoに登録 しない ▾
DB書き込み 戻る

図 10 スケジュール入力(PC／学生)

また、就職面接会等の場合のためにページを分けて入力する。

就職面接会参加 その他
[h26530さんの[2016-02-02]の予定]
時間 08 時～ 08 時
名称
会場
参加 戻る

図 11 イベント入力(PC／学生)

教員は、学生とは違いカレンダーではなく、はじめのページでは毎月のスケジュールを表示する。



図 12 学生スケジュール(PC/教員)

学生が「公開する」と選択したスケジュールは、図 12 の「学生閲覧」で現在表示している月の学生スケジュールで、閲覧することができる。

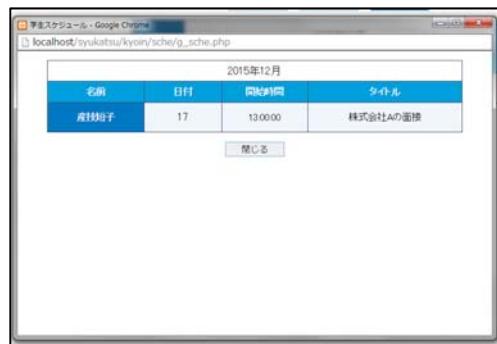


図 13 学生スケジュール閲覧(PC/教員)

⑥Todo

Todo とは、明確な締切りや期日があるスケジュールとは異なり、ある一定の期間内に「するべきこと」である。

最新の情報をそれぞれ共有して発信閲覧することができる。

学生は、自分自身に対してのみ Todo を登録することができる。



図 14 Todo(PC)

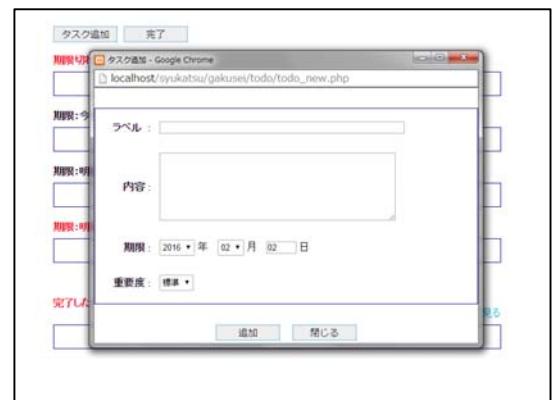


図 15 タスク追加(PC/学生)

教員は、複数人に対して Todo を登録することができる。

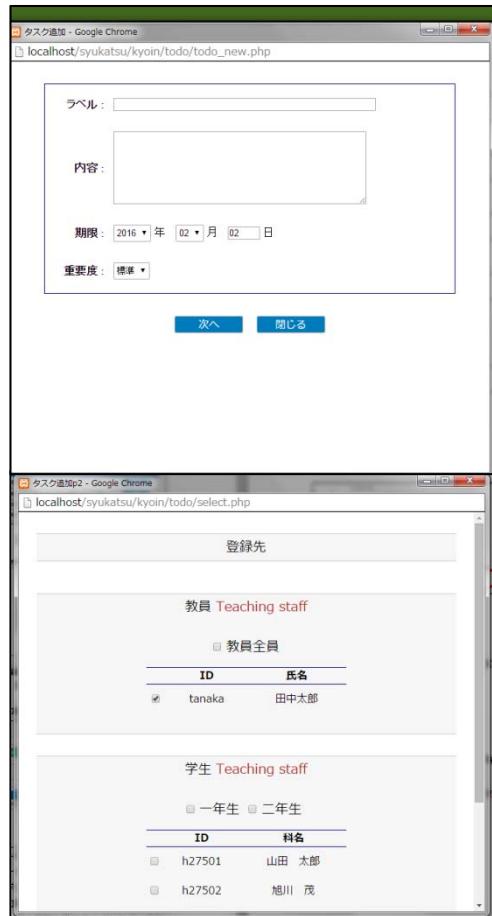


図 16 タスク追加(PC/教員)

⑦報告書作成・管理

学生は、就職に必要な報告書（選考報告書等）をそれぞれ作成・編集が可能である。

報告書名	提出済	再提出	未提出
選考報告書	1通	0通	0通
企業訪問報告書	2通	0通	0通
就職面接会等参加報告書	特になし。		
就職内定報告書	0通	0通	0通

図 17 報告書作成トップ (PC／学生)

作成後、入力確認を行い「提出／保存」をすると、教員が「提出／保存」したもの添削することとなる。この時、ブラウザ上で印刷は可能である。

図 18 選考報告書作成確認 (PC／学生)

図 17 から報告書を選択すると図 19 のように表示する。報告書の編集及び削除が可能である。

企業名	選考日時	控稿日時	操作
株式会社いから	2015-12-01	2015-12-17	編集 削除

図 19 選考報告書編集ページ (PC／学生)

教員は、報告書を添削するため、学生が提出した報告書を報告書別に件数で表示している。

(例：図 20)

報告書名	件数
選考報告書	2件
企業訪問報告書	3件
就職面接会等参加報告書	なし
就職内定報告書	1件

図 20 報告書管理 (PC／教員)

任意の報告書を選択すると、内容を確認しながら「修正・承認」指示を出すことが可能である。

図 21 添削コメント (PC／教員)

任意の報告書が「承認」された場合、学生の確認の際、「印刷」と「完了」が可能となる。「完了」の際は、データが削除される。（例：図 22）

図 22 承認済報告書 (PC／学生)

選考報告書の場合、任意で過去選考報告書に登録「する」か「しない」かが選択可能である。

(例：図 23)

図 23 承認済選考報告書 (PC／学生)

⑧企業データ

学生は閲覧のみだが、教員は企業データを「追加」「編集」「削除」が可能である。

最新の求人票は、産技短のホームページのようにリンクを貼り、表示することができる。

(例：図 24)

図 24 企業データトップ(PC／学生)

⑨過去選考報告書閲覧

⑧のページから各企業の過去選考報告書を年代別や全てまとめたものを閲覧することができる。

図 25 企業データ (PC／学生)

図 26 過去選考報告書閲覧 (PC)

⑩学生管理 (教員のみ)

学生を追加・削除・変更できる。

図 27 学生管理トップ (PC)

4. おわりに

【PC 版】

当初の考えていた機能が再現できており、途中データベースを一部変更するなど新たに加えた内容も問題なく動かせることができた。

しかし、セキュリティ面が弱いので対策案を考えている。

今回の卒業研究を通し、PHP とデータベースの理解を深めることができた。

【スマートフォン版】

PC 版のサイトをスマートフォンから見やすくなるために画面サイズの自動切り替えや、メニューの配置、種類等を使用する側になって作成することができた。しかし、画面サイズの自動切り替えがうまくいかない所があり手動切り替えにした。

今回の卒業研究を通し、スマートフォンサイトの特徴やサイズ変更の仕方などの知識を習得することができた。